

LPG HYBRID 取扱説明書

 ケイテック株式会社

◆基本事項：LPG-HYBRID仕様車とは

LPG-HYBRID仕様車は、ガソリンと液化石油ガス（以下「LPガス」と省略）の両方を使用できるバイフューエル車です。

通常は「自動切替モード」により始動はガソリンで行われ、その後自動的にLPガスに切り替わり、通常走行をLPガスで行います。また「ガソリンモード」に手動切替することにより、ガソリンだけでの走行をすることも出来ます。LPG-HYBRID仕様車は、LPガスが主燃料、ガソリンが補助燃料となります。

◆モード切替スイッチの説明

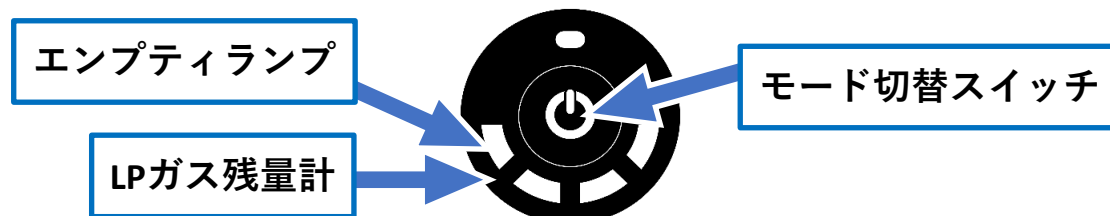
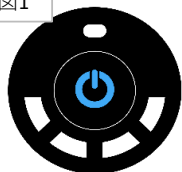


図1

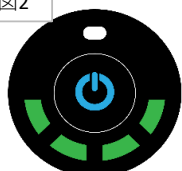


●モード切替スイッチの説明●

《図1・青点滅…LPガス待機モード》

エンジン冷間時はLPガス待機モードになります。
エンジン暖気後自動でLPガスモードに切り替わります。
スイッチを押すとガソリンモードに切り替えが可能です。

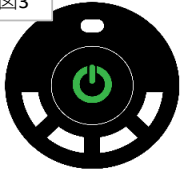
図2



《図2・青点灯+残量計…LPガスモード》

暖気が終了しLPガスで動いている状態です。
スイッチを押すとガソリンモードに切り替えが可能です。
※LPガスがなくなった場合はブザー音とともに自動でガソリンモードへ切り替わります。
手動でオフにした場合はLPガス充填後、再度手動でオンにしてください。

図3



《図3・緑点灯…ガソリンモード》

ガソリンのみで動くモードです。
スイッチを押すとLPガス待機モードに切り替わります。

図4



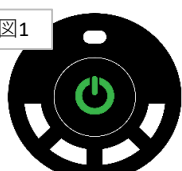
●LPガス残量計の説明●

残量表示はLPガスを消費すると右側から順に消灯していきます。

《図4・残量計赤表示…LPガス残量わずか》

LPガスが残り少なくなった場合には、左側のエンプティランプが点灯します。

図1



《スイッチから音がしてLPガスモードに切り替わらない》

◆ピー・プーという音がする…LPガス残量ゼロ

LPガスの残量がなくなっています。充填してください。

◆ピツという短い音がする……システムエラー通知

LPガスシステムに不具合がある可能性があります。
お近くの販売店で点検してください。

◆モードの説明

①LPガスモード（自動切替）

- ガソリンでエンジンを始動し、エンジンの水温が上昇するとガソリンモードから自動的にLPガスモードに切り替わります。
- 冬場など気温が低い時は長めの暖機運転となり、気温の高い時は暖機運転が短くなります。
- LPガスモードで運転中にLPガスが空になると、ピー・プーという音が鳴り自動的にガソリンモードに切り替わります。

②ガソリンモード

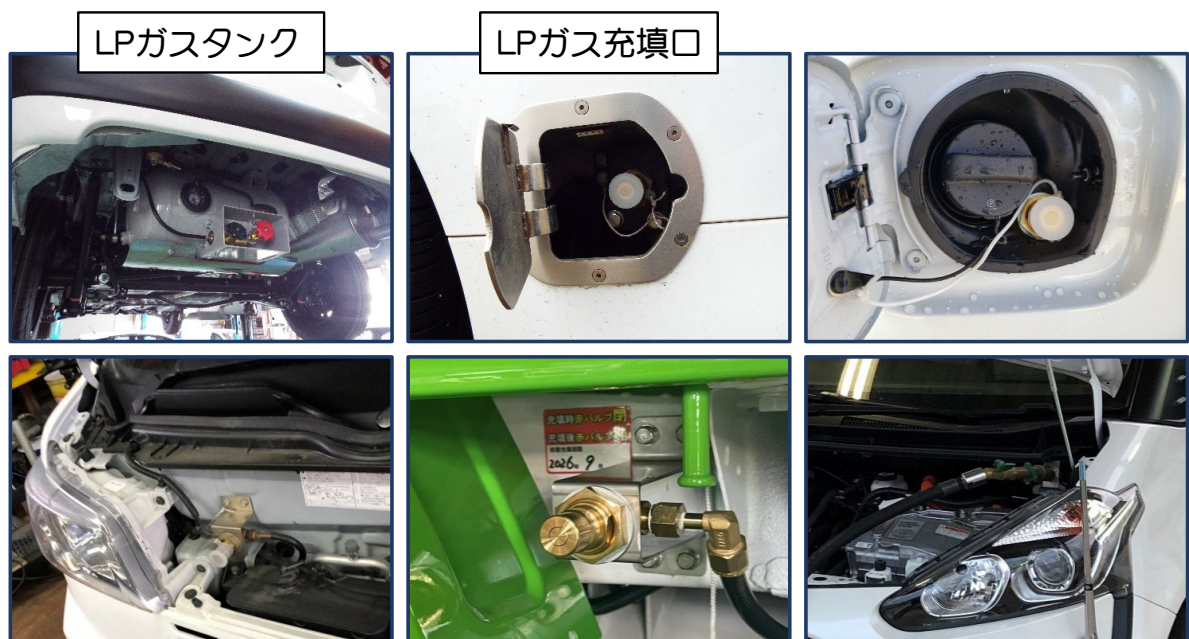
- LPガスが空の時には自動でガソリンモードで走行します。
手動で切り替え、ガソリンで走行することができます。

※LPガスモード中に燃料切れで自動でガソリンモードに切り替わった場合は、LPガス充填後自動でLPガスモードに復帰します。

手動でガソリンモードに切り替えた場合は、手動でLPガスモードに切り替えるまでガソリンモードが継続します。エンジン再始動した場合も手動での切り替えが必要です。

※モード切替スイッチは見えにくい位置にありますので、走行しながら見るのは危険です。ご注意の上、安全な走行を心掛けましょう。

◆LPガス充填について



「給油口」及び「LPガスタンクのバルブ」に関しては特に操作の必要はありません。LPガススタンドの係員が操作を行います。

※LPガス充填後は必ず「LPガスモード」に切り替わっているかを確認してから走行して下さい。

※車種により、給油口及びLPガスタンクの位置は異なります。

◆LPG充填時の注意※充填時に係員に伝えてください

充填時は必ず赤バルブを閉めてください。
赤バルブを閉めずに充填すると、過流防止弁が
作動しトラブルの原因となります。

※充填終了後は、必ず赤バルブを開け、
LPガスに切り替わることを確認してください。



◆LPガスタンク使用期限（耐用年数）について

LPG-HYBRID仕様車のLPガスタンクには工場製造日より6年間の使用期限
（耐用年数）があります。

※タンクは個別に使用期限が異なりますので、期限が切れる前に容器検査を
実施してください。

※車検とタンク期限はそれぞれ異なります。

※施工には5年以上耐圧期限が残っているタンクを使用しています。

◆メンテナンス

エンジンオイル・オイルエレメント交換のサイクルは、車両メーカー指定距離
数に従ってください。エンジンオイルは、LPガス車専用オイルまたはA P I -
S P / C F グレード以上を推奨します。

◆取扱い上の注意事項

◎燃料切替は停車時や走行時など、いつでもモード切替スイッチにて手動切替
が可能です。

◎余分なガソリンは車体重量増になり走行抵抗となりますので適量（10～
20L）だけを入れて重量を軽くするようにしてください。また、過度な暖気は
控え初期アイドリングでのガソリンの消費を抑えてください。

◎ガソリンを使ってエンジンを始動しています。ガソリンは絶対に空（ガス
欠）にならないよう注意してください。

◎衝突事故の場合は速やかにエンジンを切り、LPガスの供給を止めてくださ
い。

◎車内でガス臭を感じた場合、またはシステムに異常が発生した場合、モード
切替スイッチを「ガソリンモード」にしてください。ガソリンでの走行は可能
ですので、ガステック販売店もしくは最寄りの整備工場にて点検を受けてくだ
さい。

◎エンジンオイルはガソリン車より汚れませんが交換サイクルは車両メーカー
指定距離ごとに行ってください。

こんなときは？

●LPガス充填後にガソリンから切り替わらない

⇒ LPガスタンクのバルブ開閉を確認してください。

(開閉時のバルブ回転方向は水道の蛇口と同じです)

走行時は「赤バルブ開く・緑バルブ閉じる」、それでも切り替わら

ない場合はガススイッチを一旦切って赤バルブを全閉してから

もう一度**ゆっくり全開にし**、モード切替スイッチをONにしてください。

過流防止弁の解除の方法は動画でもご覧いただけます。

●始動時にガソリンからLPガスに切り替わるのが遅い

⇒ 外気温が低くなるとエンジン冷却水の上昇が遅くなり

暖気時間が若干長くなるためです。

●LPガス充填所で「車両側にLPガスが入っていない」と言われた

⇒ 全開充填時のLPガスと今回充填予定のLPガスの圧力差が原因です。

充填係の方に「**LPガスを抜いてください**」と伝えてください。

充填所で「ブロー」という対処をしてから充填します。

●いつもより充填量が少ない、または多い

⇒ LPガスの特性で外気温により若干の容量変化が起きるためです。

(気温が高い→膨張 / 気温が低い→凝縮)

この車両はガソリン車を改造したエコカーです。
運行前点検・月次点検・定期点検を行い安全にご使用ください。
安心・安全にご利用いただけますよう、
弊社ホームページ内のユーザーページもご一読ください。
ユーザーページはこちらからご覧いただけます→



☆車検・整備・点検は、下記の施工店 もしくは
全国のガステック販売店 (<https://www.k-techcorp.com>)
にて行ってください。

店名

住所

電話番号

担当者名



全国LPガススタンド検索アプリ

